

取扱説明書

全自動

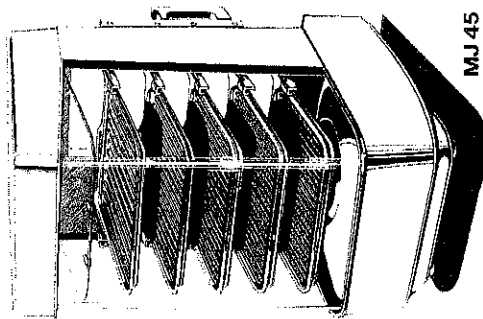
まんじゅう蒸し器

スチームマスター® MJ45/MJ60

この度は「全自動まんじゅう蒸し器」をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。
この説明書をよくお読みうえ、正しくお使いください。

目次

1. 製品の特徴	
1-1 製品の特徴	1
1-2 各部の名称	3
2. 安全について	
2-1 安全上のご注意	5
2-2 取扱い上のお願い	7
3. 設置のしかた	9
4. 使用方法	
4-1 使用前の準備	10
4-2 販売方法	11
4-3 まんじゅうの補充	12
4-4 給水	12
5. お手入れのしかた	
5-1 水の交換方法	13
5-2 毎日のお手入れ	14
5-3 汚れが気になる時	16
6. 保管のしかた	20
7. 困った時は	
7-1 排水の流れが悪い場合	21
7-2 エラー表示が出てしまった場合	22
7-3 蛍光灯がつかない場合	23
7-4 ドアの向きを変えたい場合	24
7-5 その他の困った時は	25
8. 仕様書	26
9. アフターサービス	26



MJ 45

最終ページに保証書がついておりますので、大切に保管してください。

販売元 日本ヒートコー販売株式会社

製造元 日本ヒートコー機器株式会社

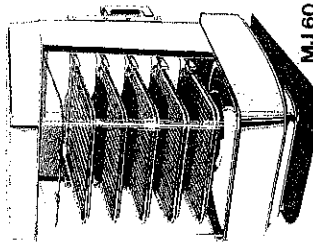
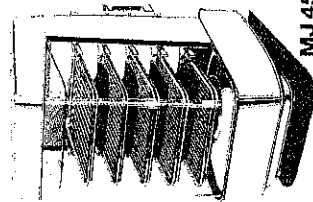
あたらしく

『スチームマスター』シリーズは、従来のまんじゅう蒸し器よりも、『よく売れて』、『操作が簡単で』、『お手入れのしやすい』です。

「スチームマスター」は、登録商標です。

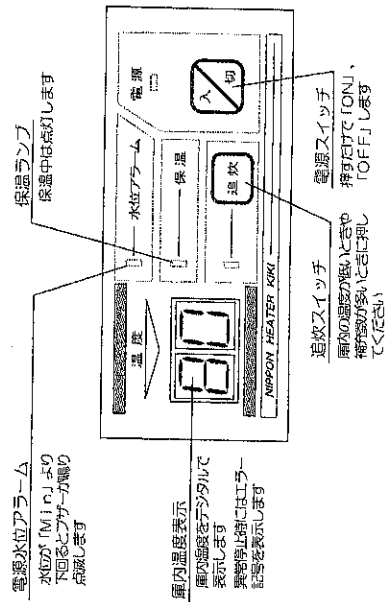
① 前面のガラスに支柱がなく、まんじゅうがよく見えます。

曲面二重ガラスを採用し、ガラスのお手入れも簡単にできます。
お客様目のとまる曲線を生かしたデザインです（意匠登録済）



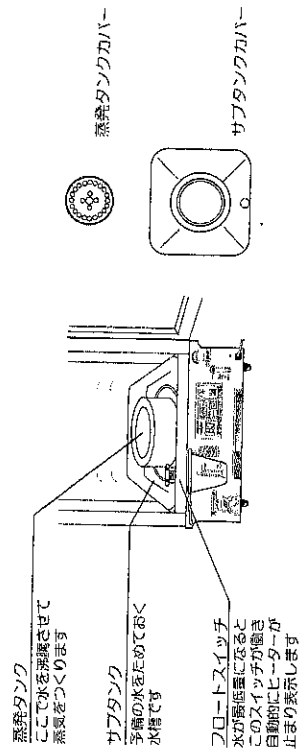
② 庫内温度をマイコン制御、デジタルで見やすい温度表示。異常停止時もエラー表示とブザー音でお知らせします。

※ 異常停止時の解除方法は、22ページに詳しい説明があります。



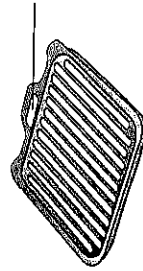
③ 汚れやすいタンク部の清掃が簡単にできます。

- サブタンクを洗いやすいPP樹脂です。
- 2つのタンクカバーは、一体取り外しできます。
- フロートスイッチは分解清掃ができます。
- タンク内部の二重槽構造は、特許取得済です。



④ トレイが抜け落ちないストッパー機能があります。

- 引き出し過ぎて、うっかり落下させることはありません。
- トレイを抜く時は、最後まで引き出して止まったあとに斜め上方向に持ち上げながら引きと抜けます。



この穴にトングの先端を差し込んで引き出します。
(意匠登録済)

⑤ 蒸気還流方式で省エネ運転です。

- 飽和した余分な蒸気は、庫内のサイドパネルの穴から吸収し、側板に導かれ水滴化してサブタンクへ回収します。
- 運転中の蒸気の漏れがなくなり、庫外への湿気の影響を少なくし水の節約にもなります。

⑥ MJ 45はトレイ棚ピッチの変更ができます。

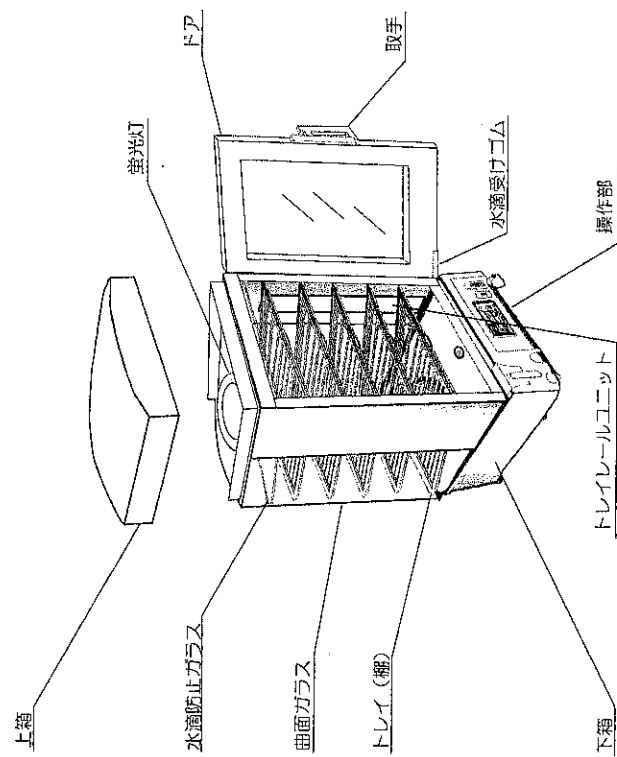
- 6段仕様のトレイユニットをオプションでご用意しています。
- 本書の15ページに取り替え方法の説明があります。

※ MJ60は、トレイ棚ピッチの変更はできません。

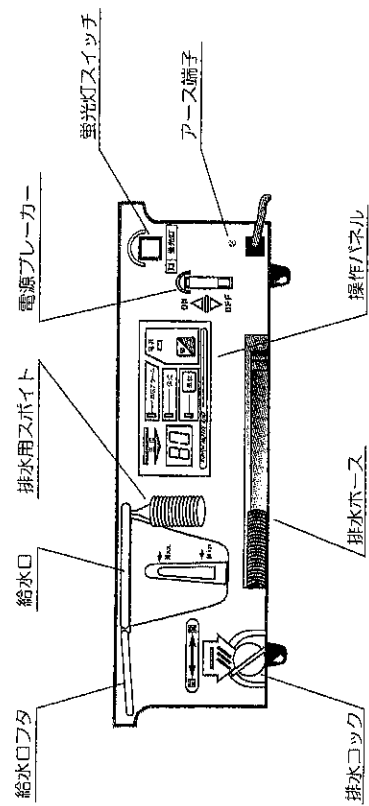
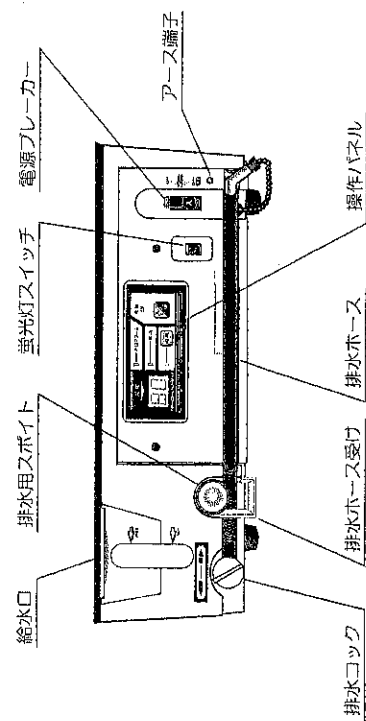
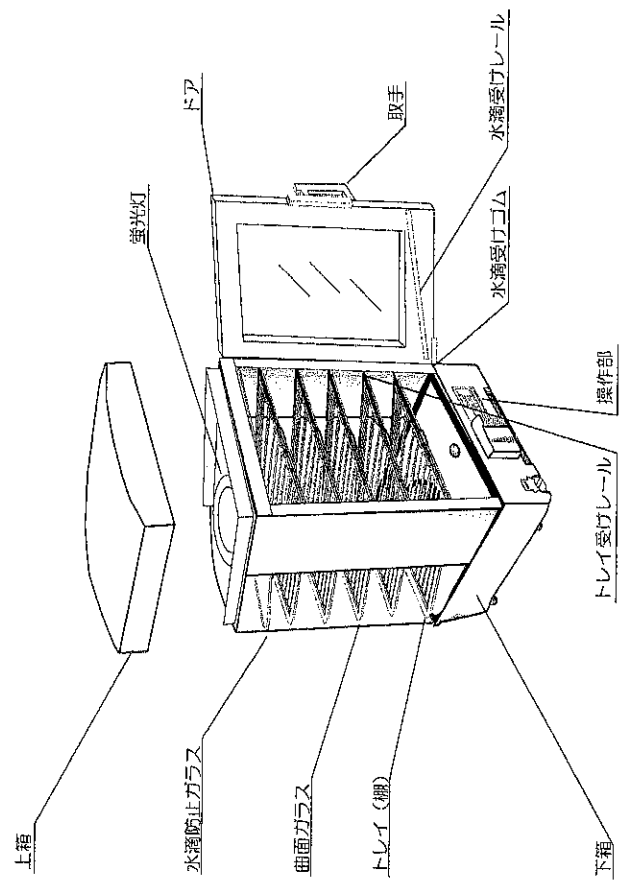
1-2 各部の名称

製品の特徴

スチ-ムスタ-MJ45



スチーマスタ-MJ60



※ ご使用の前に、この「安全上のご注意」と「取扱いい上のお願ひ」をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。また本取扱説明書では注意事項を記載する上で、その危険の程度から「警告」及び「注意」の2つに分けて示しています。

警告	誤った取扱いをしたとき、人が死にまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	誤った取扱いをしたとき、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを示しています。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



●記号は、行為の強制及び指示内容があることを示しています。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。

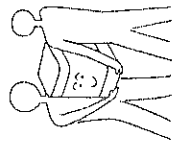
※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告	
	修理技術者以外の人は、絶対に改造、分解をおこなわないでください。 ⇒ 不完全な修理等は、火災、感電、けがの原因になります。 修理等は、お買い上げ先かサービス窓口までご連絡ください。
	ぬれた手で、電源プラグに触ったり、スイッチを操作したり、蛍光灯等の交換をしないでください。 ⇒ 感電の恐れがあります。
	お手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。 ⇒ 感電やけがをすることがあります。
	製品内部の電気部品は、雨水、清掃時の水等でぬれないようにしてください。 また、本体に水がかかったり、水につけたり、水洗いをしないでください。 ⇒ 感電や、故障の恐れがあります。
	定格10A以上のコンセントを単独で使ってください。 また、交流100V以外では使用しないでください。 ⇒ 発熱をきたらないと感電や火災の原因になります。

注意	
	電源プラグを抜くときは、電源コードを待たずに先端のプラグを持って抜いてください。 ⇒ 電源コードを引っ張ると、コードが破損し感電やショートして火災の原因になります。
	延長ケーブルや、タコ足配線、他の器具との分岐コンセントは使用しないでください。 ⇒ 分岐コンセント部分や電線が異常過熱し、火災の原因になります。
	アースは、ガス管や水道管、電話回線のアース逆巻針に接続しないでください。 ⇒ 感電や火災の恐れがあります。
	漏電遮断機がたびたび作動した場合には、お買い上げ先かサービス窓口にご連絡ください。 ⇒ 使用を続けると感電や火災の恐れがあります。
	製品が災害等で水没した場合、電気部品、配線は、必ずお買い上げ先かサービス窓口までご連絡ください。 ⇒ 使用を続けると感電や火災の恐れがあります。
	本体は、まんじゅう専用蒸し器です。缶、ビン等の容器入り飲料や炭酸飲料等は、温めないでください。 ⇒ 容器が破裂し、けがの恐れがあります。
	本体に、アルコール、シンナー等の溶剤、薬液は、絶対に入れないでください。 ⇒ 加熱時に爆発する恐れがあります。
	本体を屋外に設置する場合には、雨、雪等がかからない場所で使用してください。 ⇒ 雨、雪等で本体がぬれた場合、感電や故障の恐れがあります。
	必ずお店の人が販売してください。 ⇒ 取扱いを知らないお客様がご使用になると、事故、けが、やけど等をする恐れがあります。
	電源コードを踏みつけたり、押しつけたり、無理にねじまげたり、束ねたり、傷つけたり破損したり、加工したり、引っ張ったりしないでください。 ⇒ 感電、ショート、火災の原因になります。
	設置に際しては、食品衛生法を遵守してください。 また、JIS基準や業界自主基準に準拠した設置をしてください。 ⇒ 不完全な設置や違法な設置は、転倒事故、感電、火災、水もれの恐れがあります。
	異常時（本体が異常に熱い、異音音がする等）は、電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いて、お買い上げ先かサービス窓口にご連絡ください。 ⇒ 異常なまま使用を続けると、故障、感電、火災等の原因になります。

※ 火災・感電・やけど・故障等を防ぐために、ご使用の前に必ずお読みください。

使用する場所について



☆ 運搬は必ず2人で

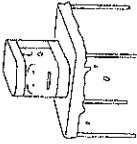
1人でおこなうと本体を落とす、けがや本体を破壊する恐れがあります。

☆ 水平な場所に設置する



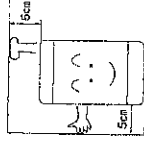
水平な場所に置かないと、本体が転倒し、けがや本体を破壊する恐れがあります。

☆ 熱に弱いテーブルや台の上で使わない



テーブルや台が変色したり、変形したりする原因になります。

☆ 本体上部、側面は5cm以上のスペースを



蒸気・熱気により周りの製品に影響をあたえる恐れがあります。

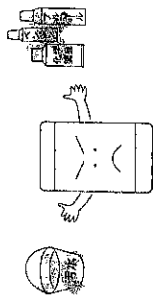
使用する前に

☆ 延長ケーブルやタコ足配線をしない



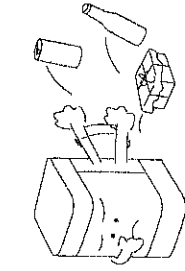
電線が加熱し火災の原因になります。

☆ 本体に水道水以外の水はいれない



故障・悪臭の原因になります。

☆ まんじゅう以外のものを庫内にいれない



☆ 定格10A以上、交流100Vの専用コンセントを使う

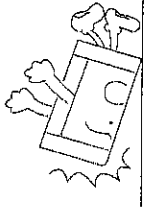
感電や火災の原因になります。

☆ 電源コードを破損・加工・曲げる・引っ張る・ねじる・束ねる・はさむ等しない

コードが破損し、火災・感電の原因になります。

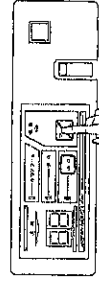
使用中は

☆ 傾けない、動かさない



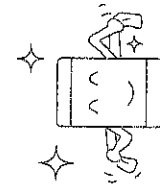
転倒すると熱湯がこぼれやけどの原因になります。

☆ めれた手でスイッチを操作しない



感電の恐れがあります。

☆ 庫内は1日1回はお手入れを



故障・悪臭の原因になります。

☆ セルフサービス形式の販売はしない

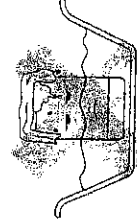
取扱方法を知らないお客様がご使用になると、事故、やけど、けが等をする恐れがあります。

☆ 使用中、使用直後は持ち運ばない
熱湯がこぼれやけどの原因になります。

☆ 本体の上にものせない
故障の原因になります。

使用後は

☆ 水につけたり、水をかけたりしない
また流し台等の水にぬれた場所に置かない



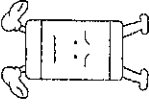
ショート・感電の恐れがあります。

☆ 凍結に注意する



凍結の恐れがあるときは、タンク内の水を捨ててください。
万々凍結した場合は、完全に溶けてから使用してください。
凍結したまま使用すると故障の原因になります。

☆ 本体をさかさまにしない



熱湯がこぼれやけどの原因になります。
また故障の原因になります。

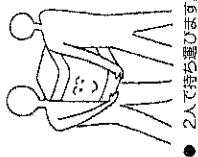
☆ 電源プラグの抜き差しは、必ずプラグ部分を持つ

電源コードを引っ張ると、コードが破損し感電や火災の原因になります。

☆ 使用中以外は、電源プラグはコンセントから抜いておく

けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

1. 開梱し、付属品にもれがないか確認します。
(付属品：トング・アース線)

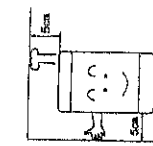


- 2人で持ち運びます。

2. 水平で熱に強い台の上に置きます。
運搬は必ず2人で行ってください。



- 水平でない場所には置かないこと。

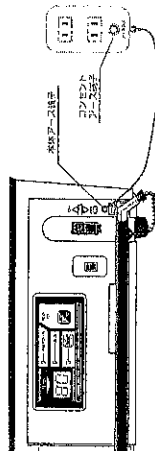


- 5cmあけます。

- 熱に強い台の上には置かないこと。

3. アース線をとりつけます。

本体の端子位置は、P3～4の「各部の名称」でご確認ください



- 本体とお店のコンセントのアース端子につながります。

コンセントにアース端子がない場合は、お近くの電気店に相談してアース端子を設置してください。

実施のときの注意事項

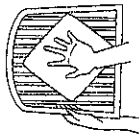
	● 熱に強い場所、水平でない場所に置かないでください。 ⇒ 本体が歪み、ケガをする恐れがあります。
	● アースは、ガス管や水道管、電話回線のアース線路に接続しないでください。 ⇒ 感電や火災の恐れがあります。

	● 本体を移動するときに、取手を持って移動しないでください。 ⇒ 取手が破損し、落下させる恐れがあります。
	● 本体が入っていたダンボール箱は、未使用時の保管で使用するもので捨てないでください。 ⇒ 捨てられた場合は、有償で販売しております。

4-1 使用前の準備

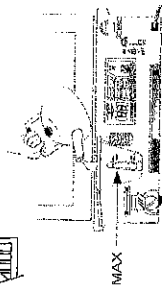
まず、下記の手順で、庫内の温度を「50℃」以上にし、まんじゅうを蒸します。

1. 取手を引き、ドアを開けます。
全段のトレイを引き抜き、ひきんでふきます。



- トレイをふきんで拭きます

2. 給水口の「Max」ラインまで水を入れます。



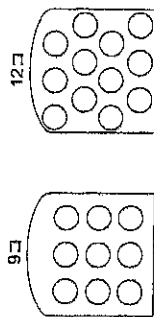
- 「Max」まで給水します。

3. 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ブレーカーを「ON」、電源を「入」にします。



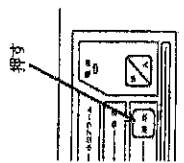
- 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を「入」にします。

4. 庫内温度表示の数値が「50℃」以上になったら、ドアを少し開け蒸気を逃がしてから、トレイをトングで引き出します。



- トレイにまんじゅうをのせます。

6. 追加スイッチを押します。
庫内が所定の温度に達すると自動的に保温ランプが点灯します。



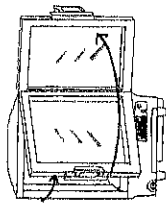
- 追加ボタンを押します。

実施のときの注意事項

	● 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差ししないでください。 ⇒ 感電やけがをすることがあります。
	● 加熱中は、庫内に手や顔を入れないでください。 ⇒ やけどをする恐れがあります。

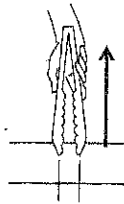
	● まんじゅうは指定されたものを使用し、食品衛生法に従い、日常の管理をしてください。 ⇒ 事故発生の原因になる恐れがあります。
	● 延長ケーブルや、タコ足配線、他の器具との分岐コンセントは使用しないでください。 ⇒ 異常加熱し火災が発生する恐れがあります。

1. 取手を引き、ドアを少し開け蒸気を逃がしてから全開します。



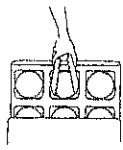
- 蒸気を逃がしてから開けます。

2. まんじゅうがのっているトレイをトングでつまんで引き出します



- トングでトレイを引き出します。

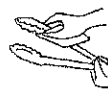
3. まんじゅうをトングではさんで、袋等に入れます。



- まんじゅうをトングでつまみます。

4. トレイを庫内にゆっくり収納し、ドアを閉めます。

5. トングをふきん等で拭いてからトング掛けに戻します。

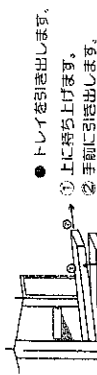


- トングをふきんで拭きます。

実施のときの注意事項

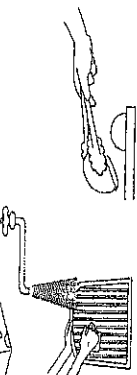
● 必ずお店の方が販売してください。取扱い方法を知らないお客様に使用させないでください。 ⇒ 事故発生の原因になる恐れがあります。	● ドアを開けると、強い臭いを感じる恐れがあります。 ⇒ ドアガラスが割れる恐れがあります。
● 庫内は、大変熱くなっていますので、顔を40cm以上遠ざけてください。 ⇒ やけどをする恐れがあります。	● トングを拭くふきんは、常に清潔に保つようしてください。 ⇒ 事故発生の原因になる恐れがあります。

1. 取手を引き、ドアを少し開け蒸気を逃がしてから全開します。



- トレイを引き出します。
① 上に持ち上げます。
② 手前に引き出します。

2. まんじゅうがのっていないトレイをトングでつまんで引き出します

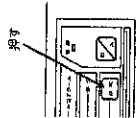


- トレイを引きます。
● まんじゅうをのせます。

3. 引き出したトレイを水洗いします。
※ 洗剤・化学薬品は使用しないでください。

4. トレイの表面に新しいまんじゅうを並べます。

5. トレイを本体に収納しドアを開めます。



- 追放ボタンを押します。

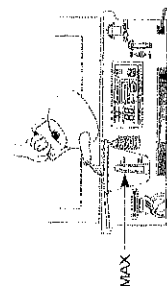
6. まんじゅうの補充量が多い場合は、「追放スイッチ」を押します。

庫内が所定の温度に達すると自動的に除霜ランプが点灯します。

実施のときの注意事項

● 庫内は、大変熱くなっていますので、顔を40cm以上遠ざけてください。 ⇒ やけどをする恐れがあります。	● 本体からトレイを引き出すときは、トングでひばってください。 また、本体から取り出す場合は、引き出し蓋とあとふきんで両方を握り、数秒上に上げながら引き下げて下に向けると外れます。必ずふきんを使用してください。 ⇒ やけどをする恐れがあります。
● 焼き足しの場合は、補充したまんじゅうと型に入っているものと混同しないように注意してください。	

1. 給水口のフタを開けて、水道水を「Max」ライン近くまでゆっくりに注ぎ入れます。



- 「Max」まで水をいれます。

2. 給水口のフタを閉めます。

実施のときの注意事項

● お湯や水道水以外の水は入れないでください。 ⇒ 故障・悪臭の原因になります。	● 「Max」ラインを超えて水を入れないでください。 ⇒ 水漏れをおこす恐れがあります。
---	---

5 お手入れのしかた

1日2回以上は全ての水を入替えてください。

全部入替えないと、水道中の「カルキ」等が濃縮されタンク内にこびりつき、故障の原因となります。

1. 電源スイッチ、電源ブレーカーを切り、電源プラグをコンセントからぬぎます。

2. 7リットル以上入るポリバケツを用意します。

3. 排水コックが、「閉」になっているのを確認し、排水ホースを本体から外します。

4. 排水口がポリバケツに同いて入るのを確認し、排水コックを「開」にします。

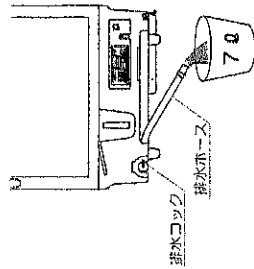
排水口、熱湯が体にかからないように注意してください。
やけどする恐れがあります。

5. タンク内の水を全部抜いたあと排水コックを「開」にします。

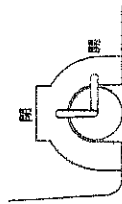
6. 排水コックが「閉」、排水ホースが収納してあることを確認します。

7. 給水口から水道水を「Max」まで入れます。

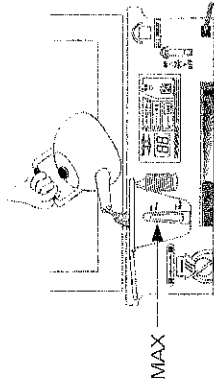
8. 電源プラグをコンセントに差込み、電源ブレーカーを「ON」にし、電源を「入」にします。



● バケツを用意して排水します。



● 排水コックを「閉」に回します。



● 「Max」まで水を入れます。

実施のときの注意事項

	● 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 また、ぬれた手で振動をしないください。 ⇒ 感電やけがをすることがあります。
	● 排水の時、逆手、締めかみ等を誤用し、排水ホースを挟んでください。 ⇒ やけどをする恐れがあります。

5 お手入れのしかた 5-2 毎日のお手入れ

庫内の掃除

※ 庫内を清潔に保つため、1日1回は庫内の清掃をおこなってください。

※ 庫内のお手入れの際は、中性洗剤などは絶対に使用しないでください。
部品の劣化や蒸発タンクからお湯があらわれる原因になります。

1. 電源スイッチ、電源ブレーカーを切り、電源プラグをコンセントからぬぎます。

2. 扉を開けたまま10分以上放置して庫内の温度を下げます。

3. 全てのトレイ、サブタンクカバー、蒸発タンクカバーを取り外します。

4. トレイ受けレールのすき間を、歯ブラシを使い汚れを落とします。

5. トレイ受けレールユニットを取り外します。(MJ45のみ)
(15ページに詳しい説明があります)

6. 空のポリバケツを用意して、排水ホースをポリバケツに向けます。

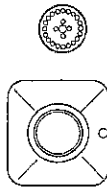
7. 排水コックを「開」にして排水し、終了したら「閉」にします。

8. 庫内のガラス、金属部分、ドアの内側をかたく絞ったフキンで拭きまします。
(洗剤は使用しないでください)

9. トレイ受けレールユニットを取りつめます。(MJ45のみ)
(15ページに詳しい説明があります)

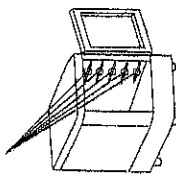


● 扉をあけて庫内の温度を下げます。

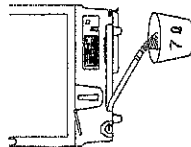


● トレイ、サブタンクカバー、蒸発タンクカバーを取り外します。

トレイ受けレール



● トレイ受けレールのすき間を歯ブラシで汚れを落とします。



● バケツを用意して排水します。

実施のときの注意事項

	● 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 また、ぬれた手で振動をしないください。 ⇒ 感電やけがをすることがあります。
	● 電源を切った後は、庫内が高温になっていて、冷ましてから作業をしてください。 ⇒ やけどをする恐れがあります。

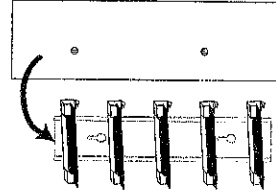
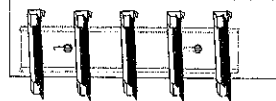
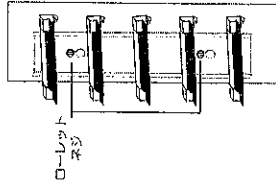
	● 庫内の汚れ落としに、シンナー・ベンジン等の化学薬品や中性洗剤・クレンザーは使用しないでください。 ⇒ 部品の劣化の原因になります。
	● 庫内に水を入れるときに、扉内パネルに水がかからないようにしてください。 ⇒ 電気部品が故障する原因になります。

スチームマ스터-MJ45 のみ対象です。※ MJ60 には関係ありません。

トレイレールユニットの脱着のしかた 庫内のお手入れをする場合に、トレイレールユニットを取り外すとガラス掃除がしやすくなります。

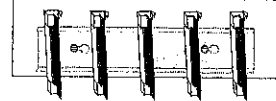
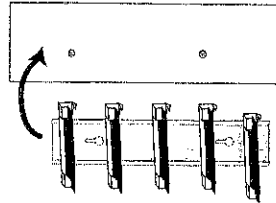
トレイレールユニットの取り外しのしかた

1. ローレットネジを2ヶ所ゆるめます。
2. トレイレールユニットを上方向にスライドさせてローレットネジを大きなネジ穴に合わせます。
3. トレイレールユニットを側面板から取り外します。ローレットネジは、そのまま側面板に残します。



トレイレールユニットの取り付けのしかた

1. トレイレールユニットをローレットネジと大きなネジ穴が合うように取り付けます。
2. トレイレールユニットを下方向にスライドさせてローレットネジをせまいネジ穴に合わせます。
3. ローレットネジを2ヶ所指でしめてトレイレールユニットを固定します。



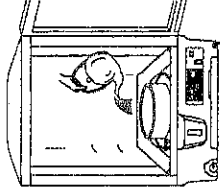
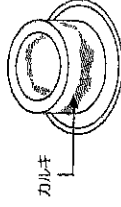
実施のときの注意事項

- ローレットネジは本体から取り外さないでください。
⇒ ネジを紛失する恐れがあります。
- ローレットネジが腐蝕していない場合は、使用もしくはマイナスイオンドライバで回してください。
⇒ 無理に回すと指をケガする恐れがあります。

- ネジ穴の位置があっていない状態で、トレイレールユニットを無理に引っ付けないでください。
⇒ 本体の側面が破損する原因になります。
- トレイレールユニットを固定するときは、ローレットネジをしっかりと締めて回してください。
⇒ トレイが引き出しにくくなる可能性があります。

サブタンク・蒸発タンクの掃除

1. 柔らかいスポンジでサブタンクや蒸発タンクをこすります。汚れがひどい所は強くこすります。蒸発タンク内の「カルキ」は取りきれない場合があります。
● 蒸発タンクのそうしをします。



- タンク内面を洗い流します。

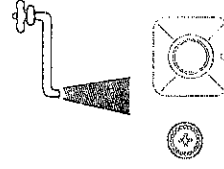
実施のときの注意事項

- 排水のときは、水が本体や周りにかからないように注意してください。
⇒ 故障する恐れがあります。
- タンクの洗浄剤として、シンナー・ベンジン等の化学薬品や中性洗剤・クレンザーは使用しないでください。
⇒ 部品の劣化の原因になります。

- 強いスポンジ・タワシ・金属タワシ等を使用しないでください。
⇒ 部品の劣化の原因になります。
- 1日2回以上水を交換するようにしてください。
⇒ カルキがあまり付着しなくなります。

サブタンクカバー・蒸発タンクカバーの掃除

1. サブタンクカバー・蒸発タンクカバーを水洗いして、きれいなふきんで水を拭きます。
2. サブタンクカバー・蒸発タンクカバーを庫内に戻します。



実施のときの注意事項

- カバーの汚れ落とし、シンナー・ベンジン等の化学薬品や中性洗剤・クレンザーは使用しないでください。
⇒ 部品の劣化の原因になります。

- サブタンクカバー・蒸発タンクカバーを水洗いします。

トレイの掃除

1. トレイはスポンジを使い水洗いし、乾いたふきんで水を拭きます。
2. トレイを庫内に戻します。

実施のときの注意事項

- トレイの汚れ落としに、シンナー・ベンジン等の化学薬品や中性洗剤・クレンザーは使用しないでください。
⇒ 部品の劣化の原因になります。

- トレイを水洗いします。

トンゲの掃除

1. トングを取手から外し、水洗いします
2. トングを乾いたふきんで水を拭き取ります。
3. トングかけに戻します。

- 洗ったトンゲをふきんで拭きます。

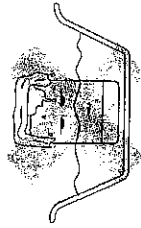
外観の掃除

1. かたく絞ったふきんで曲面ガラスを拭きます。
2. かたく絞ったふきんでドアの外側、本体側面を拭きます。

- かたくしぼったふきんで拭きます。



- スプレー洗剤は使用禁止です。



- 水につけないでください。

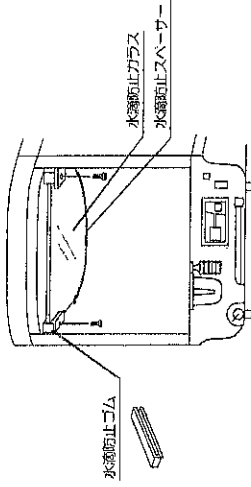
実施のときの注意事項

	● 庫内の汚れ落としに、シンナー・ベンジン等の化学薬品や中性洗剤・クレンザーは使用しないでください。 ⇒ 部品の劣化の原因になります。
	● スポンジ・タフシ・金属タフジを使用しないでください。 ⇒ 傷がつき部品の劣化の原因になります。

	● 本体からのびて電源プラグとつながっている電線やアース線は、其かないようにしてください。 ⇒ 感電や漏電の恐れがあります。
	● 外観を掃除するときに、水をかけたり、水につけたり、流しこぼさずおこなってください。 ⇒ 故障や配電の原因になります。

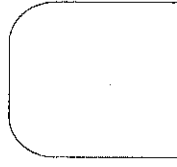
水滴防止ガラスの掃除

1. 庫内のステンレス部分とガラスを止めているネジを外します。
2. ガラスを落とさないようにゆっくり手前に引いて取り外します。



- ネジを外してガラスを取ります。

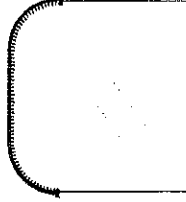
● MJ45



4. 乾いたふきんで水を拭き取ります。
(MJ60は、プラスチック製スパーサーを)
取付けて下さい

5. ガラスを本体のレールにそって入れてください。

● MJ60用 プラスチック製スパーサー



6. ガラスを奥まで押し込みネジで止めます。

実施のときの注意事項



- ガラスの汚れ落としに、シンナー・ベンジン等の化学薬品や中性洗剤・クレンザーは使用しないでください。
⇒ 部品の劣化の原因になります。



- ガラスをレールにはめて滑らすときは、ゆっくりとおこなってください。
⇒ 手前にあつかうと、ケガをする恐れがあります。

蒸発タンク内部のカルキ取り

(クエン酸清掃)

蒸発タンク内部に付着した白い汚れは、水道水のカルキ成分です。クエン酸溶液につけておくと汚れが取れやすくなりますが、汚れの程度がひどいと、きれいに取れない場合もあります。

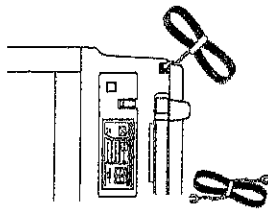
1. 庫内から、トレイ5枚、サブタンクカバー、蒸発タンクカバー、水滴防止ガラスを取り外します。
2. 給水口から「Max」ラインまで水を入れてドアを開めます。
3. 電源を入れ温度表示が70℃になるまで水を温めて、電源を切りコンセントを抜きます。
4. すぐに蒸発タンク内にクエン酸80gを入れて、ワリバシなどでよくかき混ぜて溶かします。
5. 蒸発タンクカバーをかぶせてドアを開けて電源を切ったまま1時間待ちます。
6. タンク内部にクエン酸溶液が入ったままナイロンブラシまたはふきん等で強く内部をこすって汚れを落とします。
7. タンク内部の大きなゴミをすくって捨てます。それから通常とおりの排水します。
8. 蒸発タンク及びサブタンクを十分にすすぎ洗います。
9. 蒸発タンクカバーをナイロンブラシ等でこすって汚れを落とし、水でよくすすぎ洗いをします。
10. これでクエン酸清掃は終わります。取り外した部品を庫内に戻します。最後に、水で手をよく洗ってください。

実施のときの注意事項

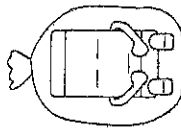
	● クエン酸は、食用にも使用されている安全な薬品ですが、絶対に直接食べないでください。
	● クエン酸を入れてかき混ぜるときは熱湯に注意してください。 ⇒ やけどをする恐れがあります。
	● タンク内部をこするときに、金属タワシを使用しないでください。 ⇒ タンクに傷がついて寿命が短くなります。

本体を長期にわたりご使用にならない場合、以下の手順で保管してください

1. 「お手入れ」の全ての項目をおこなってください。
2. ドアを開放したまま1日おいて庫内および外観を十分に乾燥させます。
3. 電源コードを束ねます。
4. アース線を取り外し、束ねます。
5. ポリ袋を上からかぶせて、ダンボール箱に収納します。
6. 湿気の少ない場所で保管します。



● 電源コードとアース線を束ねます。



● ポリ袋をかぶせて箱にしまします。

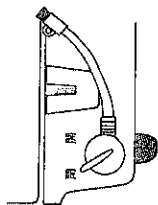
本体は、取扱説明書に記載した条件で保管してください。
条件外で保管されると事故の発生原因になります。

実施のときの注意事項

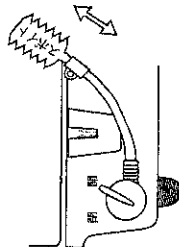
	● 本体のお手入れをするときは、必ず電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。 ⇒ 感電や漏電の恐れがある。
	● 本体を使用しないときは、必ずお手入れをしてください。 ⇒ 蒸気や部品の劣化の原因になります。
	● 本体を、湿気が少なく、気温が0℃以下に下らない場所に保管してください。 ⇒ 凍結して部品の劣化の原因になります。
	● 保管時の製品の積み上げは、3台までにしてください。 ⇒ 転倒事故、ケガの原因になります。

排水経路の途中に、まんじゅうカス等のゴミが詰まっていると思われる場合があります。付属のスポイトを使用してゴミを取り除いてください。

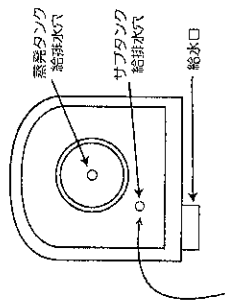
1. サブタンク内部に水が残っていることを確認します。
水がない場合は、給水口の「Max」と「Min」の間まで給水します。
2. 付属のスポイトを本体から取り外します。
3. 排水コックが「閉」になっているのを確認して、排水ホースを本体から外し上に持ち上げます。
4. 排水ホース先端のゴム栓を取りスポイトを差し込みます。
5. 排水ホースを持ち上げたまま排水コックを「開」まで回します。
6. サブタンクの給排水穴を指ささず。
7. スポイトを数回ほど強く押します。
8. 蒸発タンクの給排水穴からゴミが押し出されたのを確認して、排水コックを「閉」にします。
9. 排水ホースからスポイトをぬいて、ゴム栓をして本体に戻します。
10. 蒸発タンクに押し出されたゴミをすくい取ります。
11. 通常どおり排水をおこなないスムーズに排水ができるようになったか確認します。



● 排水ホースを上持ち上げます。



● 排水ホースの先端にスポイトを差し込み、数回ほど強く押します。



● この穴を指ささず、中央の穴からゴミがよく出てきます。

使い終わったスポイトは、なくさないように
本体の元の場所に戻しておきます。

安全に作動ができない場合、危険防止のためにエラー表示が出て作動が停止します。エラー表示が出たときは・・・下記の処置をしてください。



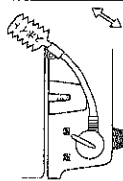
E1 の表示が出たとき

蒸発タンクへの給水不良で、空焚きになった可能性があります。

対処方法

蒸発タンクまでの給水経路にゴミが詰まっていると思われる場合「7-1 排水の流れが悪い場合」と同じ手順でゴミを取り除きます。

1. 電源を「切」にして、付属のスポイトを使用して詰まったゴミを取り除きます。
2. 排水コックを「閉」にして、給水口から水を「Max」までゆっくりと入れます。
3. 蒸発タンクに水があり、サブタンクの水位と同じであることを確認し、電源を「入」にします。



● スポイトを使いゴミを取り除きます。

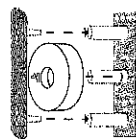


E2 の表示が出たとき

サブタンクの水量が少ない場合もしくはフロートスイッチの誤作動の可能性があります。

対処方法

1. 排水コックを「閉」にして、給水口から水を「Max」までゆっくりと入れます。
2. サブタンクに水があることを確認し、電源を「入」にします。
3. まだエラー表示が消えない場合は、電源を「切」にし、フロートスイッチを取り外して清掃します。
4. 清掃したフロートスイッチを、「上」の文字が浮き彫りされている面を上にして取付けます。
5. 電源を「入」にします。



● 「上」どかれた面を上面にして取付けます。



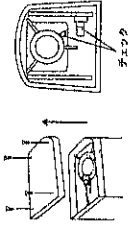
E2 または E2 の表示が出たとき

センサー等の電気系統の故障の可能性があります。使用を中止して、サービス等へご連絡ください。

蛍光灯がつかない原因は、2つの理由が考えられます。下記の手順を実施してください。

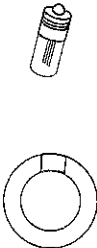
- ① 蛍光灯ソケット及びグロースターターの取付けゆるみ
- ② 蛍光灯及びグロースターターの寿命（蛍光灯、グロースターは消耗品です）

① 蛍光灯及びグロースターターの取付けゆるみ確認方法



- ① 蛍光灯スイッチと電源ブレーカーを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから必ず抜きます。
- ② 上箱を止めているネジを4本ともドライバーで外します。上箱を上持ち上げるようにして、本体から取り外します。
- ③ 蛍光灯ソケット及びグロースターターの取付けがゆるんでいないか確認します。
- ④ 電源プラグをコンセントに接続し、電源ブレーカーを「入」、蛍光灯スイッチを「ON」にし、点灯するか確認します。

② 蛍光灯及びグロースターターの交換方法



- ① 蛍光灯スイッチと電源ブレーカーを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから必ず抜きます。
新しい蛍光灯及びグロースターターを用意します。
- ② 蛍光灯からソケットを抜き、支持金具を外します。
- ③ 新しい蛍光灯を支持金具にはめ、蛍光灯のピン部分をグロースターターに近づけ、蛍光灯とソケットをつなぎます。

点灯した → 点灯しない

④ 電源プラグをコンセントに接続し、電源ブレーカーを「入」、蛍光灯スイッチを「ON」にし、蛍光灯が点灯するか確認します。

点灯した → 点灯しない

⑤ 電源ブレーカーと蛍光灯スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから必ず抜きます。

ドア開からみて、手前にある小さな照明がグロースターターなので、それを外し、新しいグロースターターをつけます。

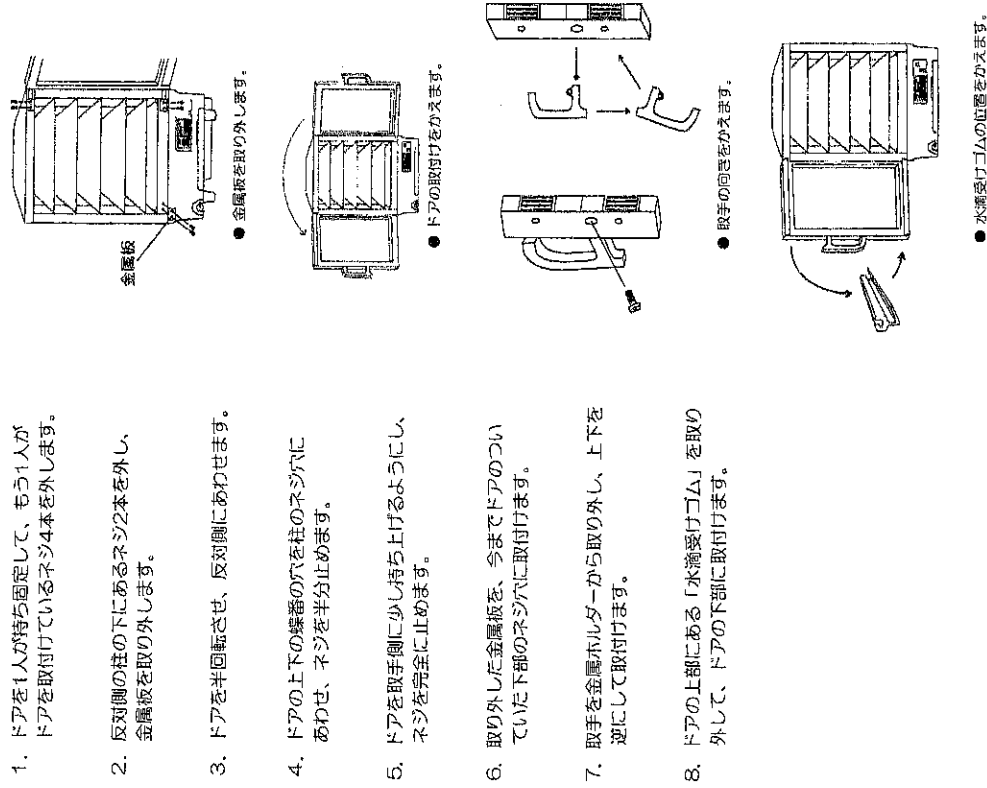
電源プラグをコンセントに接続し、電源ブレーカーを「入」、蛍光灯スイッチを「ON」にし、蛍光灯が点灯するか確認します。

⑥ 上箱の向きを合わせて本体に取付け、ネジを4本止めます。

蛍光灯交換作業は完了です。

サービス窓口にご連絡ください

標準品のドアの向きは「右開き」です。
置き場所などにより使い勝手が悪い場合は、下記の手順でドア向きをかえられます。
この作業は安全のために必ず2人でおこなってください。



1. ドアを1人が持ち固定して、もう1人がドアを取付けているネジ4本を外します。
2. 反対側の柱の下にあるネジ2本を外し、金属板を取り外します。
3. ドアを半回転させ、反対側にあわせします。
4. ドアの上下の蝶番の穴を柱のネジ穴にあわせ、ネジを半分止めします。
5. ドアを取手側に少し持ち上げるようにし、ネジを完全に止めします。
6. 取り外した金属板を、今までドアのついていた下部のネジ穴に取付けます。
7. 取手を金属ホルダーから取り外し、上下を逆にして取付けます。
8. ドアの上部にある「水滴受けゴム」を取り外して、ドアの下部に取付けます。

● 金属板を取り外します。

● ドアの取付けをかえます。

● 取手の向きをかえます。

● 水滴受けゴムの位置をかえます。

漏電ブレーカーが何度も働いたとき	⇒ 電源及び漏電ブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い上げ先またはサービス窓口までご連絡ください
本体を落下させてしまったとき	
本体から煙がでたとき	
本体が焦げ臭いとき	

全く電源が入らない場合	⇒ コンセントを差し込んでください
● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	⇒ 漏電ブレーカーを「入」にしてください
● 漏電ブレーカーが「切」になっていませんか？	⇒ 電源を「入」にしてください
● 電源が「切」になっていませんか？	⇒ 「Max」ライン以下まで水を流してください
● 水位が「Min」ライン以下になっていませんか？	⇒ ご自分で面せない場合、お近くの電気会社で修理を依頼してください
● お店のブレーカーやヒューズが切れていませんか？	

規定温度まで上がらない場合	⇒ ドアを開けてください
● ドアが開いていませんか？	⇒ 電源を切り、排水口からお湯を「Max」ライン以下まで捨ててください
● 金属カバーからお湯があふれていませんか？	⇒ もうしばらくお待ちください
● 立ち上がり時間が不足していませんか？	⇒ 熱源から離してお使いください
● オープン等の給湯のそばで使っていないいませんか？	⇒ 外気を遮断するようにしてください
● 吹きさらしの場所に置いていませんか？	

水がもれる場合	⇒ 本体が水平になるように置いてください
● 本体が、大きく傾いていませんか？	⇒ 電源を切り、排水口からお湯を「Max」ライン以下まで捨ててください
● 給水量が多くありませんか？	⇒ 水をふき取って床をみてください
● 給水のとき、水をこぼしていませんか？	⇒ 排水コックを「開」の位置にあわせてください
● 排水コックが「開」の位置にありますか？	

ドアが開まらない場合	⇒ はさまっているものを取り除いてください
● ドアと本体の間に、なにかはさまっていませんか？	

型式名称	スチームマスター MJ45	スチームマスター MJ60
収 納 数	45個 (3×3×5段)	60個 (3×4×5段)
内 寸 横	60リットル	85リットル
外形寸法 (mm)	400×500×756	471×535×744
重 量	24.5kg	26.5kg
満 水 量	4.5リットル	7.0リットル
棚 板 面 積	900cm ² ×5段	1326cm ² ×5段
棚 板 斜 度	40°	4.5°
消費電力	AC100V 986W (ヒーター950W 蛍光灯36W)	
ヒ ー タ ー	アルミダイキャストヒーター	
制 御 方 式	マイコン制御	
操 作 盤	タッチパネル式・デジタル温度表示	
安 全 装 置	漏電ブレーカー・フロートスイッチ・サーミスタ・リセットバイメタル	
材 質	ガラス・ステンレススチール・ポリプロピレン	
給 水 警 告	ランプ点灯・ブザー警報	
蛍 光 灯	30W サークライン	
付 属 品	金属トング・アース線	

最終ページの「保証書」の内容をよくご覧の上、当社「サービス窓口」へご連絡ください。保証期間後にサービスを依頼された場合には、修理により、機能がじゅうぶん発揮できる状態であれば、有料にて修理を申し受けます。

当社まんじゅう蒸し器の精修用品の最低保有期間は、該当機種製造中止後5年間です。

連絡先

- アフターサービスのご依頼
- 商品の取扱い方
- ご不明な点
- お気付けの点



日本ヒートランド株式会社
顧客サービス課

フリーダイヤル FAX 03-3768-8222
0120-009-187

〒143-0016 東京都大田区大森北1-16-6 YGビル2F